



## 恐竜時代にできた南海トラフ大地震の断層確認 !!

南阿波サンライン第3展望台下の海岸にて  
(P.12 に関連記事掲載)

# 美波町 議会 公報

定例会の概要・議案審議	2
議員の賛否	3
第4回臨時会の概要・議員の賛否	4
一般質問	5
議長の活動・議員の出欠	10
総務産業建設委員会視察	11
議会運営委員会の報告	11
表紙の関連記事	12
一老人のひと言・募集	13
頑張る人 !! ・コラム	14

第31号

平成25年12月定例会  
平成25年第4回臨時会



# 避難タワー2基の建設調査・ 避難路整備4カ所の 補正予算が決まる!!

## 12月定例会の概要

平成 25 年第 4 回定例会は、平成 25 年 12 月 9 日から平成 25 年 12 月 13 日まで5日間開催しました。

影治町長より9月議会以降の町政の進捗状況及び今定例会に提案されている、町道路線認定案1件、条例案2件、補正予算案5件、人事案1件について提案理由の説明があった。

### 議案 審議

#### ◆議案第72号 (一般会計補正予算)

##### ●防災費

##### ■質問

◆避難タワーについて、高さ、収容人数等どのようなものが建つのか

##### ■答弁

一応場所的にここがいいということ、詳しくはこれから決めていくことになる。

##### ■質問

◆避難路整備の4箇所はどこか

##### ■答弁

西の地魚呑、西由岐八幡

##### ■質問

◆赤松・日和佐高校跡地のヘリポートでの事故が心配だが、航空機の事故に対する責任はどのようになっているのか。

神社、東由岐貴井神社、阿部天神社周辺の避難路。

##### ■答弁

航空機が事故を起こした場合、町はヘリポートを貸しているだけで運行会社の責任になる。



中村町・東町避難タワー建設調査地



阿部（天神社周辺）避難路のようす

●総務費

◆**質問** コンピュータの処分で、  
秘密情報の取扱いは

**答弁**

情報漏えい防止のため、業者にはハードウェアの物理的破損を委託している。

●農林水産業費

◆**質問** 農林漁業体験施設整備事業の最終的な総事業費と維持運営はどのようになるのか

**答弁**

事業費は、平成24年・25年度が6,379万円、平成26年度が2,038万円  
で合計8,417万円になり、管理運営体制は、木岐まちづくり協議会に対する指定管理を想定し体制を検討している。

●建設費

◆**質問** 地籍調査の進捗状況は



赤松地籍調査説明会



赤松の現場調査

**答弁**

平成25年から27年の3年  
かけ、赤松の新発谷地区、

由岐湾内（西由岐・港町・  
西の地）の一部、日和佐浦  
の一部、奥河内字本村の一  
部の登記が完了す  
る計画。現在赤松  
は現地調査に入っ  
ており、平成26年  
3月には赤松以外  
3地区の地元説明  
会を行う予定。

◆**議案第71号**

（地域の元気交付  
金基金条例の制  
定）

**質問**

◆この基金の具体的用途は

**答弁**

平成24年度は、  
農山村活性化プロ  
ジェクト交付金を  
活用し木岐日尻地  
区の体験施設に充  
当、平成25年度は、  
消防自動車・スク  
ールバスの整備に  
充当する。

◆ 各議員の賛否（議案採決結果） ◆

議長…◎ 賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議 案	議 員 名													結 果	
	中川 尚毅	江本 昇	影山 美雄	川尻 竹藏	永本善次郎	丸龍 孝敏	北山 朝彦	向山 篤宏	岩瀬 公	◎坂口 進	寺下 博子	新開 悦博	舛田 邦人		松本 晋児
町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	認 定
地方税法の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可 決
地域の元気交付金基金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可 決
一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可 決
国保事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可 決
国保阿部診療所特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可 決
水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可 決
病院事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可 決
監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	承 認

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。（過半数議決の場合）

# 美波町立病院の建設用地取得!!

## 第4回臨時会の概要

平成 25 年第 4 回臨時会は、平成 25 年 12 月 18 日に開催しました。  
影治町長より病院用地の売買契約が成立したことに伴い、財産取得の議決を求められた。

### 町立美波病院建設用地取得区域



美波町立病院の完成イメージ図

### ◆ 各議員の賛否（議案採決結果） ◆

議長…◎ 賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議 案	議 員 名														結 果
	中川尚毅	江本昇	影山美雄	川尻竹藏	永本善次郎	丸龍孝敏	北山朝彦	向山篤宏	岩瀬公	◎坂口進	寺下博子	新開悦博	舛田邦人	松本晋児	
財産の取得	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可 決

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。（過半数議決の場合）

# 一般質問

一般質問では、教育問題・医療体制・ウミガメ保護・産業育成・防災問題など、町の取り組みについて5人の議員が執行部の考えを質しました。

## ① 小規模学校の教育の推進は

答 弁

町費助教員を配置し指導にあたっている。



議員 向山 篤宏

で児童・生徒に対しての教育が行われているが、今後、教育委員会は少人数学校・学級の教育をどのように推進していくのか。

また、学校統合についての基本的な判断基準をどのように考えているのか。

### ● 寺内教育長

美波町は、過疎化に伴い、児童・生徒数が減少している。現在では、学校、PTA、また、地域の連携の下、少人数学級のメリットを生かし、また、競争心や社会性を養うことが難しい等と言われるデメリットを解消するようにそれぞれの学校

児童・生徒数はここ10年で約半数(320人)となっており、学級数も減少しているが、それぞれの学年での指導が出来るように人的な補充をしている。競争心や社会性は、各種の体験を

通じて手厚く教育され養われていると思っている。学校統合の基準は定めていないが、望ましい学習環境

境が維持出来なくなった時に取り組むものと考えている。

## ② 中高一貫校に劣らない学校づくりは

答 弁

地域の支援や連携の下、教育備品、教材の充実、人的配慮にも力を注ぐ。

質 問

阿南市に中高一貫校が開設され通学圏域である美波町からも受験者が見受けられるが、中高一貫校の利点に劣らない美波町立中学校にするための施策をどう考えているか。

### ● 寺内教育長

習熟度別学級や少人数による学習指導、また、地域の支援や連携などの学習環境は魅力あるものであると考えている。また、教育備品、教材の充実、人的配慮にも力を注ぎたい。

## ③ いじめ、不登校者のない学校を目指しての取り組みは

答 弁

早期発見・早期対応に努めている。

質 問

町立小中学校においていじめや不登校者のない学校

をめざして教育委員会と学校はどのように取り組んでいるか。



複数教諭による英語指導のようす

● 寺内教育長  
いじめについては、日頃から児童生徒への指導と声かけをし、職員同士の情報交換も行うなど、早期発見に努め、事案を把握した時は職員全員で早期に対応している。

不登校については、早期発見・早期対応が大切であり、常に不登校に繋がらないように児童生徒の状況の把握に努めている。不登校者には、別室を設けるなど登校援助を行っており、スクールカウンセラーの活用も行っている。教育委員会では、事案の推移の報告を受けながら相談を受け、指示・助言を行っている。

# ① 持続可能な町をつくるため、 地域産業の振興を

答 弁  
町独自の制度の新設等も検討していく。



議員 寺下 博子

## 質 問

- ① 産業振興のまちづくりに関わる事業について実施状況や進捗は。
- ② 阿南市との定住自立圏共生ビジョンでの実施状況は。
- ③ 先日の中学生議会において、町長が答弁された3つの柱（地場産業の振興、SO等の企業誘致、観光客誘致）について、どのように推進するのか、新たな施策はあるのか。
- ④ 「美波町産業関連施策検討懇話会」には、女性メンバーがいない。企画段階からの女性の視点は重

要だと思いが、どうか。

### ● 小坂産業振興課長

① 有害鳥獣駆除奨励交付金は、6,925,500円。11月末までの駆除状況は、猪253匹、猿54匹、鹿608匹、狸12匹、ハクビシン2匹だった。日和佐町漁協が実施する予定のアオリイカ産卵礁については実施時期を変えて3月にする事になっていいる。美波の海の恵み研究会が主体となって取り



組んでいるヒジキの養殖試験事業は、前年度に収穫したヒジキの販路開拓が進められる一方、種苗確保の難しさが大きな課題として浮上してきている。

- ② 定住自立圏構想については、産業振興分野のみならず様々な分野にかかるため、総務企画課長と相談しながら、対応していきたい。
- ③ 家庭菜園的規模であっても地域内の優良農地を次

世代に渡していこうと被害対策を行う方に対し、町独自で、必要となる資材費の半額を助成する制度を新設できないか検討を行っている。

また、町長を座長とする「美波町産業関連施策検討懇話会」を発足し、今後、活性化策や振興策などについて業種の垣根を越えて一緒に考えていく。

- ④ 今後、検討していきたい。

## ② 医療体制のソフト面の確立を

弁 遅くとも平成26年度の前半には、検討に取りかかると答 かりかかる。

## 質 問

- ① 医師の確保に向けては、さまざまな機関と情報を共有し連携を広げることが重要である。若手医師の育成研修には、指導医の育成支援も重要となると思うが、今後、新病院・診療所においても、その

ような医師確保は可能となるのか。

- ② 定住自立圏構想の中で、医師派遣の強化などの支援は具体化してくるのか。
- ③ 病院、診療所の開院、医療保健センターの開設までに、機構改革等を早期に行う必要性を感じるが、どうか。

### ● 影治町長

- ① 現在の常勤医の状況は、日和佐病院で1人、由岐病院で3人、阿部診療所で1人であり、美波町全体で5人は確保できている。研修医の受け入れについては、専門医の配置や指導する時間等をとる必要がある、現在の医師数では難しい状況である。
- ② 現段階では、未定。
- ③ 現在は内部での検討のみだが、遅くとも平成26年度前半には検討に取りかかりたい。

## ③ 防災意識向上、啓発のための課題解決に向けて

答 弁  
啓発の重要なツールは、口コミであると認識し、講演会、講習会の充実を図り、訓練も重ねていく。

の質問・答弁がありました。

## ①再生可能エネルギー事業に 町有財産の活用を

**答 弁**  
売電でなく電力確保を目的で町有資産の活用に努める。



議員 舛田 邦人

### 質 問

東北震災以降、各電力会社は電力料金の値上げをしている。町民の家計も、そして美波町も負担が増していることだと思いが電気料金が今後下がることが考えられない今、ある自治体においては、再生可能エネルギー、つまり太陽光発電・風力発電等の建設や導入を進めていると聞く。美波町でも、町有林、町有の遊休地また庁舎や病院の屋上、学校の屋根などを利用しての再生エネルギー事業も可能であると思うが、エネルギーを自家用に賄うのは当

然として、余った電力を売る売電事業も町有財産の有効活用、また新規事業の一端として考えてはどうか。

### ●磯野総務企画課長

役場本庁舎も年間10%の増、金額にして約60万円の電気料金の負担が増えており、町財政にも少なからず影響を与えているのが現状である。現在町有施設で太陽光発電などの発電設備を設置しているのは日和佐小学校体育館また日和佐中学校に太陽光パネルと蓄電池を設置工事中である。メガソーラー誘致事業の候補地として、恵比須浜字田井の通称たくみの町有地を挙げているが、海岸に近く津波が予測されることなどから問い合わせはあるものの誘致には至っていないのが現状だ。

太陽光発電については、

売電を目的ではなく自家消費と災害時の電力確保を目的としている。遊休地や遊休施設なども含め、町有資産の有効活用に  
用については、出来る限り有効利用できるように努めていきたい。



## ②ウミガメ保護の対策は

**答 弁**

大浜海岸の光環境を整備する。

### 質 問

去る11月27日、アメリカから来町されたウミガメ研究者のブレアー・ウエザリントン博士が、ウミガメ保護の意見交換会において、その対策を話し合ったというところであるがどのような指摘・提言をされたものの指摘によって、どのような対策を講じようとしているのか。

### 質 問

町有林や、遊んでいる町有地を有効活用するなどの生産的な考えやアイデアを考えてみるのは大事なことでないかと思うがどうか。

### ●影治町長

有効利用については、今後対応していきたい。

### ●鶴木社会教育課長

博士からは、白い光の蛍光灯や水銀灯の明かりは、ウミガメの上陸に影響があるが、白色光である蛍光灯や水銀灯をオレンジ色の低圧ナトリウム光やウミガメに影響の少ないLED光に変更することで改善できるとの助言をいただいた。貴重な提言を参考にし、民間施設や関係機関と協議を行い、ウミガメに影響を及ぼす光環境の改善等、大浜海岸の環境整備に努めていきたい。



ウミガメ保護の意見交換会

**1 美波町産業関連施策懇談会は、町活性化の突破口になると思うが、町長の決意は**

**弁** 地場産業の危機感が、この懇談会を作らせたので、しっかりとやりたい。



議員 北山 朝彦

まだまだ緒に就いたばかりで具体的スケジュールも示すことが出来ない。

**質問**

10月31日開催の第1回「美波町産業関連施策検討懇談会」で、出席の各5団体の報告内容と意見交換での意見を説明されたい。また、今後「現状と課題を掘り下げて聞く」とあるが、どのように課題と問題を浮かび上がらせるのか。

**質問**

今後、厳しい現状を打開するため具体的課題・問題点を探ると思うが、事務レベル等現場の声を浮かび上げさせ、如何に対処するか対策の糸口を見出して行く作業が必要と思うがどうか。

**●小坂産業振興課長**

漁業に例をとると、上灘漁業振興会等があり事務方も同席し課題を探る場所があるので、懇談会が事務レベルの段階まで踏み込むのは難しい、関係職員ももっと勉強しないと個別具体的問題に踏み込める状況にないのが実情である。

**●小坂産業振興課長**

各種団体の報告内容・意見交換の内容は、「様々な面で厳しい、特効薬もなく、困っている。」等に終始した状況であり、今後は総会等の資料を基に考えていく。

**質問**

この施策は一次産業にとつて闇夜に光明を見るような施策。是非、今までの枠に捉われず成功させ町活性化の突破口にして貰いたい。

最後に町長の決意を伺いたい。

**●影治町長**

「地場産業が元気にならないと町の元気はない」と認識し、その危機感が「懇談会」を作らした。細かいスケジュールはないが、月一回会合し一つずつ課題を分析説明の作業をしていく。議員提案の事務レベルの取り上げは、現場の人の出席を求め意見を聞くことも十分考えられる。懇談会はしっかりとやっていきたい。

**2 定例会の周知と会議録のホームページへの掲載及び「いじめ防止基本方針」への対応は**

**弁** 周知は、今まで通りとし、ホームページ掲載は教育委員と協議する。いじめは基本方針を踏まえ対応する。

**質問**

開かれた教育委員会、身近な教育委員会、地域に根ざした教育委員会であるためには、定例会の傍聴者が多く会議録がホームページで見えることが大切だと思う。傍聴者を増やすため、

周知の手段を増やすべきと思わないか。また、会議録をホームページに掲載しないのはなぜか。県教育委員会より、各校で「いじめ防止基本方針」を年度内に作成する通知があったが、町教育委員会はどんな対応を考えているのか。

**●海司教育次長**

定例会の周知は「広報みなみ」と掲示板に告示を行って行っている。ホームページ掲載時期は言えないが、次回以降の定例会で決めたい。

**●寺内教育長**

いじめ防止の対策は「いじめ防止対策推進法」に掲げられている「基本的施策の項目」を踏まえて対応することになる。

**質問**

定例会周知は教育委員会の姿勢として、傍聴して貰いたいのか、そうでないのかの問題になると思うがどうか。

**●寺内教育長**

周知は大きく支障がなければ、今まで通りと考えている。

(教育問題の再質問は省略)

## 1 福祉避難所の建設を急げ

弁 災害弱者の救難は本町の最重要課題である。  
答 最善策を近く提案する。



議員 永本善次郎

### 質問

30年以内に60%から70%の確率で起きる南海トラフ3連動地震、大津波発災時に自主避難ができない高齢者・身体障がい者など、いわゆる災害弱者の命を救うために高台に集団で、又は家族と共に生活できる住宅施設、福祉避難所の建設が最優先されるべきと思うが、対策の進捗状況を示してもらいたい。高知県では先般、県当局と関係市町村が連携のもと、この福祉避難所建設計画に着手したと聞いているが、本町では早急に取り組む意思はないのか。

### ●影治町長

災害弱者を安全な高台に移転へという考えは議員の考えと同じである。後はその手法について、財源の問題、優先順位も考えながら、現在は巨大津波対策として、町立病院の再編に取り組んでいる。防災行政無線のデジタル化は先般出来上がりました。提言のあった南海トラフ地震対策特別措置法の精査については、今月国へその内容説明を聞きに行く。避難困難者をどのように処遇するかについては、介護つき住宅、家族と同居できる住宅、沿岸部に住みながら敷地を嵩上げる方法、避難場所を併設する方法等、現在最善の方策を検討している。そう遠くはない時期に議会に提案し、説明したい。

## 2 消防車を浸水させるな

弁 高台移転を考えていく。  
答

### 質問

消防車は防災活動全般に欠くことのできない重要装備である。浸水区域の消防詰所を高台で交通便利性の良い場所へ早急に移転する

べきではないか。

### ●橋本消防防災課長

本町の消防詰所は16カ所、その内13カ所が浸水区域にある。移転の重要性は十分認識している。古く耐

震性のないものから順次、消防団と協議の上、高台移転を進めて行く。



木岐分団詰所 (海拔 4m)



役場庁舎横の分団詰所 (海拔 3m)

## 議長の主な 活動状況

(平成25年9月定例会後から  
12月定例会まで)

◆9月24日

四国四県町村長・議長大会

◆10月18日

県議会海部地区の  
議員定数2の堅持を陳情

◆10月15日

福岡県那珂川町議会来町  
副議長・防災委員長対応

◆11月13日

第57回議長大会（東京都）

◆11月14・15日

町村議長会研修（徳島県）

◆11月28日

鳥取県知頭町議会来町  
副議長対応

◆11月29日

海部・安芸議長連合会が徳島県  
知事・議長に地域高規格道路早  
期完成、国道55号整備促進の要  
望活動

## ◆ 各議員の出欠状況（平成25年9月定例会後から12月定例会） ◆

出席…○ 欠席…× 委員外出席…△ 委員外…ー

日付・会議等	議員名														
	中川 尚毅	江本 昇	影山 美雄	川尻 竹藏	永本 善次郎	丸龍 孝敏	北山 朝彦	向山 篤宏	岩瀬 公	坂口 進	寺下 博子	新開 悦博	舛田 邦人	松本 晋児	
9月24日	議会広報特別委員会	○	ー	ー	ー	○	ー	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー
30日～ 10月1日	議会広報研修会（東京都）	○	ー	ー	ー	○	ー	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー
10月4日	議会広報特別委員会	○	ー	ー	ー	○	ー	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー
10月11日	議会広報特別委員会	○	ー	ー	ー	○	ー	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー
16日	議会広報特別委員会	○	ー	ー	ー	○	ー	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー
21日	議会広報特別委員会	○	ー	ー	ー	○	ー	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー
28日	議会広報特別委員会	○	ー	ー	ー	○	ー	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー
11月5日 6日	四国地区町村議会研修会	/	/	/	○	/	/	/	/	○	○	○	/	/	/
16日	総務産業建設委員会 大豊町視察	○	○	ー	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー	△	○	○
29日	議会運営委員会	△	○	ー	○	△	○	○	○	△	△	○	△	△	△
29日	病院事業特別委員会	ー	○	○	△	△	△	△	△	△	△	○	○	△	○
12月3日	議会運営委員会	△	○	△	△	ー	○	○	○	△	ー	○	○	○	△
3日	防災対策特別委員会	ー	△	○	○	△	△	△	○	ー	△	○	○	○	ー
9日	12月定例会提案理由の説明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12日	一般質問	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
12日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12日	総務産業建設委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13日	議案審議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみ掲載しています。

# 有害鳥獣(シカ)の有効活用は可能か

## 総務産業建設委員会 ジビエ事業についての視察

11月17日に、高知県大豊町第2回四国ジビエグルメフェスタが開催されました。美波町議会の議員8人、美波町捕獲鳥獣活用協議会から2人、美波町産業振興課の関係職員が5人参加しました。

会場の「ゆとりすとパークおおとよ」は標高800mくらいの山上にあり、霧の中を登ると巨大な風車が2基立っておりまして。10時には霧が晴れて、視界が開け真っ白の雲海が現れました。

講演は、『未来に繋げる四国のシカビジネス』『高知県のよさいこジビエの取組み』『ジビエの魅力でおもてなし』でジビエビジネスの現状と未来への取組み、高知県の鳥獣による被害の実態と対策、ジビエの取組みなどについて3時間お話を聞きました。

会場広場は、シカ・イノシシ等のジビエ料理や加工品をならべ、大勢の人が列をなしていました。各自見学と昼食を兼ねて試食しました。

会場を出た後、講演会担当者の好意によってイノシシの解体施設も見学させていただきました。施設を見て設備について説明を受けていたところに、ちょうどイノシシが運びこまれて来たので、幸運にも実際の処理作業の一部を見学することができました。

捕獲鳥獣の活用については、ジビエ料理の味、需要・供給、広報、解体処理施設のありかた、残滓(残りかす)の処理方法を含めていろいろな問題点や課題があげられ、本町の対策の参考になりました。



## 議会運営委員会の報告

平成25年11月29日に「各委員会の開催を放送設備を使い周知をする」ことを議題に議会運営委員会で審議をした。

### ◆審議での意見

- 放送で周知する必要はない。
- 放送設備を使わずにホームページで周知をする。
- まずホームページとケーブルテレビで周知をし、住民の要望があれば町内放送とする。
- 委員会は公開が原則なので、放送設備を使った周知等できるだけ多くの手立てを講じる。

### ◆採決の結果

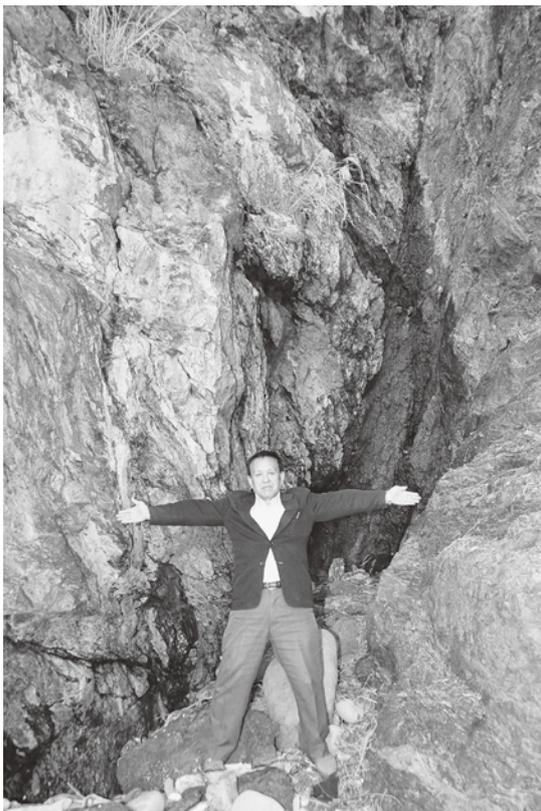
各委員会の開催について、放送設備などで住民に周知はしないことに決定した。

表紙の  
関連記事

# 南海トラフ大地震の 痕跡を求めて

張野 晴伸

室戸ジオパークの柴田博士が2005年に発見した（世界で4例目）、約7千万年前にできた南阿波断層を確認するため、南阿波サンライン第3展望台下の海岸へ降りた。



左の写真は、南海トラフで発生した大地震に伴ってできた断層で、断層の左側は、泥岩と砂岩の互層で、泥岩が多く黒っぽく見えるのに対して、右側の互層は砂岩が多く白っぽく見える。また、中央の断層面に沿って摩擦熱によってできたシュードタキライトという黒い物質が見られる。

これは、地下数千mの深い所でできた断層で、その一部が地上に露出したものである。



右上の写真は、南阿波サンライン下の水落海岸にあり、メラングジュ（混成岩相）と呼ばれ、赤色や緑色の岩石が混ざって美しいモザイク模様をつくっている。

このメラングジュは、プレートの移動により削られた岩石が溶けて固まった岩相で、強い圧力と熱が加わってできたと考えられる。



左の写真は、私が平成元年に明丸海岸の赤バエで発見した枕状溶岩である。枕を積み重ねたようなかたちに見えるため、この名前がついた。また、赤みがかかった色も特長である。

これはフィリピン付近の海底火山から噴出した溶岩が、海底で冷えてできたもので、1年間に4cmの速さでプレートにのって明丸海岸に移動したものである。

# 一老人のひと言

美波町志和岐  
森 本 繁 春

議会だよりを見ると、議員の質問に対しほとんどの担当課長が「検討したい」の繰返しで、この様に計画し何日までにやります等の返答が見られません。こんな答で、高齢者問題等山積する町政問題の解決や進歩はあるのでしょうか。避難タワー等本町でも町外の真似しとけば防災対策やっていると云えるかのように設置していますが、高齢者は事に当たり使用できないと思うし、将来、無用の長物となりはしないか危惧します。

また、由岐公民館が、県博物館と共催で九州五島行（以西底曳網漁業）関係の写真展を開催し、町長、教育長にもご案内しましたが、開催中（十日間）一度もお見えにならなかつた。九州漁場開拓という漁業関係者の功績の陰には、阿部から日和佐まで多くの犠牲者が出ております。今の町はこのような先人の功績の上に成り立っている事を再認識していただくために、ご来場頂けなかつたことが残念でなりません。

## 議会広報についてのご意見を下さい!

私たち議会広報委員は、「手に取り・見て・読んでもらえる議会広報」「住民から必要とされる議会広報」になるよう編集委員会で常に話し合っています。そこで、今回多くの住民から意見を聞かせていただくということで、私たちが出張し意見交換会を開催したいと思いますのでよろしくお願いします。

皆さん、  
意見交換会に  
参加して下さい!

- ①各種団体で8人以上。住民グループで8人以上。
- ②日時・開催場所については相談して決定します。

## 住民の皆さんのご応募をお願いします!

- ①掲載写真（表紙等の写真）・撮影場所
  - ②「議会への一言」・「傍聴者の声」等を400字以内。
  - ③住所・氏名は掲載します。
- ※掲載についての判断は、議会広報特別委員会で行います。

お問い合わせ・投稿される方は、議会事務局 ☎ 77 - 3630  
E-mail : gikai@town.minami.lg.jp までご連絡下さい。





# 頑張る人!!

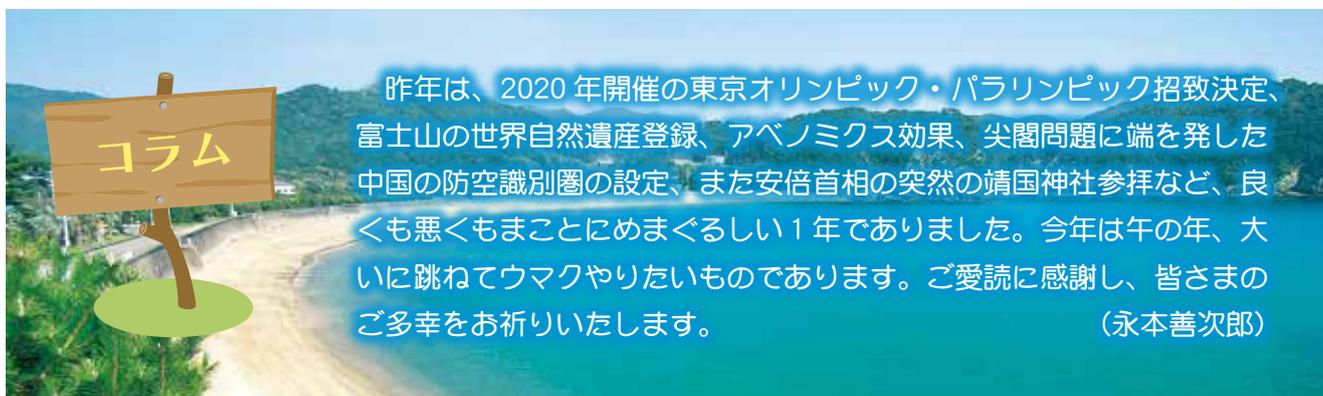
地域の魅力を掘り起こせ



## 阿部地区の防災対策を説明する瀬戸さん

瀬戸 興宣 (72才) 阿部自主防災会事務局長

南海トラフ大地震の津波対応に大活躍中。阿部地区の津波対策は「ご近所防災」に始まり、「マイ避難路」そして、テレビとITをつないだ「ジョイントタウン徳島」の実証実験事業など、阿部の地名を全国に知らしめた。



昨年は、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック招致決定、富士山の世界自然遺産登録、アベノミクス効果、尖閣問題に端を発した中国の防空識別圏の設定、また安倍首相の突然の靖国神社参拝など、良くも悪くもまことにめまぐるしい1年でありました。今年は午の年、大いに跳ねてウマクやりたいものであります。ご愛読に感謝し、皆さまのご多幸をお祈りいたします。  
(永本善次郎)

● 議会広報特別委員会 ● (お問い合わせ・ご意見は TEL: 77-3630へ)

委員長: 北山 朝彦

副委員長: 永本善次郎

委員: 新開 悦博・向山 篤宏・中川 尚毅